

東北 VALUE SIGHT 秋田



株式会社十文字リーディングカンパニー 代表取締役社長
小川 健吉 (おがわ・けんきち)

1949年、秋田県十文字町生まれ。
1967年湯沢高校卒業後、農業を継いで延べ11年の出稼ぎ経験も。3期12年の町議員を経て、2000年9月、十文字町町長に当選。2005年秋の旧横手市などの合併まで町長を務める。2007年、十文字、増田両地域の一般住民35名が株主となって設立された株式会社十文字リーディングカンパニーの初代社長に就任。
株式会社十文字リーディングカンパニー
〒019-0529 秋田県横手市十文字町字海道下21-4
TEL 0182-23-9320・FAX 0182-42-3847

道の駅を地域の元気の拠点にしたい。

その思いから、秋田県にある「まめでらが〜道の駅十文字」を運営する株式会社十文字リーディングカンパニーの小川社長は、道の駅を単なる休憩施設に終わらせず、地域住民が集い、活動する場とした地元密着型の運営で、地域の振興に積極的に取り組んでいる。「まめでらが〜」の核店舗である直売所（ふれあい直売十文字）は、県内トップの売り上げを誇っている。

道の駅から地域に 元気を発信する

当社は平成19年3月に、秋田県増田町、十文字町（現在は両町とも横手市に合併）の町民35名がお金を出し合い誕生した、資本金2,000万円の小さな会社である。横手市より指定管理委託を受け、「まめでらが〜道の駅十文字」の運営に携わっている。

道の駅構想は、横手一帯に及ぶ合併の中で、旧十文字町の人口約1万5,000人のうち6割の方たちが住んでいる中心部に、気軽に集まれる場所を作ろうという思いから生まれたものである。高齢化が進み、お年寄りが家にこもってしまうと、人と人とのコミュニケーションが希薄になっていくだろうと思い、例えば朝から晩まで家でテレビを見ているだけではなく、ここに来て交流してほしいと考えた。その思いが通じたのか、今では1日1回顔を出す地域住民が多く、休憩コーナーや飲食コーナーでくつろいでいる。このようなコミュニティ作りを原点に、何か災害等が発生した時には避難場所として利用いただき、併せて地域の産業振興につながっていければと考えたのが、「まめでらが〜道の駅十文字」設立の経緯である。

こだわりの産直と、道の駅正面の有効利用

「まめでらが〜道の駅十文字」は、秋田県の南に位置する横手市の玄関口として国道13号線沿いにある。この場所は十文字町の中心部で、十文字インターチェンジがすぐそばにあり、大変利便性に富んだ所でもある。「まめでらが〜」は広い駐車場、トイレや休憩所、コンビニエンスストアが一体型になった、全国でも珍しい東北初の完全民間経営である。

オープン前は非常に厳しい経営が予想されたが、お陰様でスタートから4年が経過し、今のところ順調にきている。また、想像以上に地域に活気が出てきたような気がする。特に産直では、横手市内で収穫されたものにこだわり、販売の9割を占めている。多品目で、珍しい農産物が非常に多いのも特徴で、多くのお客さまに喜ばれている。農家の皆さんには、小遣い稼ぎではなく、収入の柱として取り組んでほしいと考え、常に農家の方自身にコスト計算をしてもらい、商品の価格を決めていただいている。また、

商業者をも巻き込んでいく必要があると考え、特に正面の入り口を活用して地元はもちろん、やる気のある方々に出店いただいている。地域が一体となって盛り上がっていかればと思っている。お陰様で昨年からは利用してくれる商業者が増えてきており、これからも大いに呼びかけていきたい。加えて、正面ホールを有効利用すべく、地域の方々や道の駅を利用される皆さまに自由に使っていただいていることが非常に喜ばれている。利用者はプロアマ問わず、趣味活動などいろいろな分野に利用いただき、お客さまと一体となって盛り上げに役買っている。

さらに、道の駅十文字ではボランティアスタッフが活躍している。道の駅の案内はもちろんのこと、道路・温泉・観光名所・食事処・イベントなどの情報案内を行っている。また、正面ホールを会場として、自由に参加できる健康体操、歌声タイム、折り紙教室（どれも毎週水曜日）、生け花等を開催し、積極的に取り組んでいる。冬期間は休憩ホールにこたつを設置し、お客さまに元気とやすらぎの両方を与えられるよう配慮している。

野菜の販売にもおもてなしをプラス

当社では、「いらっしやいませだけでなく、お客さんとありっつけしゃべる」をモットーにお客さまと交流を図っており、従業員のしゃべりはまだまだだが、店内の心地よい雰囲気づくりに努力している。また、5名のスタッフが「野菜ソムリエ」の資格を取得し、野菜や果物の知識はもちろんのこと、生産者の思いも込めて、調理方法や保存方法を説明している。購入に迷ったお客さまには商品の特徴や用途をアドバイスして伝える努力をしている。お客

さまとのきめ細かなコミュニケーションを重視しながら、他にはない産直づくりを日指し活動中である。また、スタッフ自らがトイレ・休憩ホールなどさまざまな箇所の清掃をすることによって経費を抑えるとともに、スタッフの教育にもなっている。少しでも地域や農家の皆さんへ還元していきたいとも考えている。

地域に貢献できる施設として

これから人口が減少し、今の状況を保つのは厳しいことが予想されるが、道の駅に出ている商品を外に向けて販売していくべきだと考え、2年前から秋田県内、宮城、東京、千葉、神奈川などに販売拠点を作り上げた。農家の皆さん、商業者の皆さんに安心して地域で頑張っただけであればと思っている。現在のところ、この外販も少しずつではあるが、伸びてきている。ただし、経費も係り増しになっているところがあるので、なんとか物量的に多く出していけるよう努力している。外販することによって、物を売るだけでなく、道の駅十文字の宣伝に大きな効果をもたらしている。当社は小さな会社だが、地域に密着しながら、地域に貢献していくことをモットーに、皆さんに愛してもらえよう、これからもさまざまなことに挑戦していきたい。

また、秋田県南の7つの道の駅で組織された「秋田県南じまんこ市場」は、各道の駅を巡回し、物産・農産物等の販売やイベントなどを行い、各地域・各道の駅との交流を深め、お客さまに喜んでいただきながら、販路拡大にも努めている。当社はまだまだ未熟な会社だが、宜しくご指導お願い申し上げます。



「まめでらが〜道の駅十文字」の店舗。
「まめでらが〜」とは、「まめめめしく健康でいましたか」からくる秋田の方言で、「お元気ですか」の意。

